

タヴィラ (Tavira) 周辺を歩く

について



写真: Shutterstock - Evgeni Fabisuk

タヴィラ (Tavira) 周辺を歩く

タヴィラは非常に魅惑的な街です。ジラオン川 (Gilão)

側沿いの通りから、街並みを一望するのに絶好のスポットである城壁まで歩くと、隠れた名所を発掘してその秘密を明らかにしたくなります。

この街には、独自の方法で空に向かって輪郭を描く「はさみ」のトラス構造、すなわち切り妻造りの屋根や、空気や音を遮断することなく家を保護する格子模様の木製のドアなど、東洋的な魅力があります。これはこの地域に居住したアラブ人からの遺産です。

タヴィラは、ゆったりと散策するのがお勧めの狭い通りと白塗りの家々が入り組んだ構造になっており、川の両岸にわたっています。コレト庭園 (Jardim do Coreto) (野外ステージ庭園)

は最も賑わう地区で、人々はアイスクリームや新鮮な空気を楽しみながら散策しています。特に夜は、ショーや他のイベントによってこの地域の顔が一変します。ここでは、リベイラ市場がその本来の市場としての役割を終えた後、エンターテインメントとレジャーの空間となります。

元はローマ式と考えられている最も古い橋は、欄干を張り巡らし

た17世紀の構造をしており、美しい家並みが一望できます。城の塔

に登れば、さらに素晴らしい眺望が待っています。そこは街を一望できる文句なしのベストビューポイントで、眼下にうねるような家々の屋根、教会のドーム、川、塩田、水平線まで青い海が臨めます。

このパノラマを見れば、また道中で目にするすべてのものを見れば、頂上に到着するまでの苦労もなんてことはありません。たとえば、壁の門をくぐると、タヴィラ (Tavira) にある37の教会の1つ、ミゼリコルディア (Misericórdia)

の見事なルネッサンス様式の入り口が目の前に現われます。また

、イスラムセンターや、ガラリア宮殿内にあり最も目に留まりやすい市立博物館

でこの街の歴史を詳しく学ぶこともできます。さらに上には、城や、古い大きなモスクの敷地に建つサンタ・マリア教会 (Igreja de Santa

Maria) があります。ここは、1242年ムーア人からタヴィラ (Tavira)

を奪回するためにサンティアゴの

騎士のドン・パイオ・ペレス・コレイアと、彼が率いた騎士団の7

名の騎士が休息をとった場所です。その近くにあるサンティアゴ教会 (Igreja de

Santiago) も、小さい古代のモスクのあった場所に建てられたものです。

川を渡ると、反対側の丘には足を運ぶべき教会が他にもあります。中世時代に建てられたサン・ブラス教会 (Ermida de São Brás)

と、アルガルヴェで最も贅をこらした造りで、贅

沢なバロック様式の装飾を施した**ノッサ・セニョーラ・ド・モンテ・ド・カルモ教会** (Igreja da Ordem Terceira do Carmo)、さらにはシンプルで質素な**サン・パウロ教会** (Igreja de São Paulo) などです。

歩き疲れてへとへとになったら、この地域の名物料理で元気を取り戻すのが一番です。さまざまな方法で調理した蛸やレザー・クラム・ライスなど、新鮮な魚やシーフードは特にお勧めです。マグロ漁はこの地域でより伝統的な漁業であるため、マグロのステーキ、またはエストペタ(ツナサラダ)もお勧めです。これについては、ジラオン川 (Gilão) の河口、アラリアル・フレイラ・ネット (Arraial Ferreira

Neto) にある博物館

で詳しく知ることができます。ここはかつて漁師とその家族を収容するために建てられたもので、現在はホテルとなっています。

この街の魅力はリア・フォルモサ (Ria Formosa) (フォルモサ河口)

まで及びます。白い塩田に挟まれたジラオン川沿いの道を進むとその河口が現れ、黒い翼のセイタカシギ、フラミンゴ、ソリハシセイタカシギなどの鳥の姿を見ることができます。その終点はクアトロ・アグアス (Quatro

Águas) です。そこから、潟と海を隔てる砂洲のビーチへボートで渡ることができます。ここには**タヴィラ島** (Ilha de

Tavira)、**テラ・エストレイタ** (Terra Estreita)、**バリル** (Barril)、**オーメン・ヌ** (Homem

Nu) など、11kmにわたるビーチがあります。この忙しいツアーの後にはこちらでご休憩ください。

絶対のお勧め

- > 城の塔からの見事な眺望を楽しむ
- > 古の通りを散策し、イスラム様式の壁の遺跡を発見する
- > 古い水槽の中にあるカメラ・オブスクラ (Câmara Obscura) (タヴィラ・タワー) でこの街の壮麗さを堪能
- > タヴィラの37の教会を見学
- > 蛸やツナサラダ、タヴィラのお菓子など土地の名物料理に舌鼓
- > コレト庭園(Jardim do Coreto)でアイスクリームを食べる
- > この地域の塩田から抽出した塩花を購入
- > 海沿いの散歩でタヴィラ島の長く延びた砂のビーチを歩く
- > ベリル・ビーチの錨「廃棄物置き場」にびっくり
- > タヴィラから 8 kmの距離にあるモイニョス・ダ・ロシャ (Moinhos da Rocha) とペーゴ・ド・インフェルノ (Pego do Inferno) の滝を観光

周辺情報

- カシヨポ (Cachopo) はタヴィラ (Tavira) から内陸へ40kmの場所にある、教会区で最も山の多い地域です。ここでは、複雑に装飾された「レースのような」煙突を持つ家並みと、ハチミツ、メドロニョブランデー、ソーセージやチーズ、手工芸品など伝統的な製品を使用する地方色の強い生活様式を見ることができます。

- サンタ・ルジア (Santa Luzia) は、伝統的な蛸漁に従事する漁師の故郷です。ここからテラ・エストレイタ・ビーチまでは定期運行船を利用します。徒歩で海岸を歩くか、観光電車でベリル・ビーチに移動します。

- カバナス・デ・タヴィラ (Cabanas de Tavira) -

この漁村の名前は漁師が自分たちの用具を保存していた建物に因んでいます。カバナス-マール・ビーチ (Praia de Cabanas-Mar) へは棧橋から出るボートで行けます。

- カセラ-ヴェーリャ (Cacela-velha) - この約13km離れた、アラブの伝統の残る魅力的な村では、散策や、皆からリア・フォルモサの素晴らしい景観をお楽しみください。その価値がある村です。

お役立ち情報

- 城から塩田まで、この街の主な名所について知るには、市内を周回するミニ電車が便利です。電車の路線は古橋、川の反対側のコレト庭園から始まります。

- タヴィラ島には、次の2ヶ所から定期的に出るボートで行くことができます。旧リベイラ市場 (Mercado da Ribeira) 裏の波止場とクアトロ・アグアスの棧橋。

行き方

- 車：
- 北部から:A2 – Autoestrada do Sul – をパデルネ (Paderne) の最後の料金所で降り、タヴィラ方面に進むか、高速道路を避けたい場合はIC1に進みます。
 - アルガルヴェから:A22 – ド・インファンテ経由、またはEN125
 - ヴィラ・リアル・デ・サント・アントニオ (Vila Real de Santo António)
- との境界近くにあるスペインのアヤモンテからは約30kmです。
- コーチ：www.rede-expressos.pt と www.eva-bus.com もアルガルヴェ (Algarve) の他の場所への移動に利用できます。
- 鉄道：タヴィラ鉄道駅はファロとヴィラ・リアル・デ・サント・アントニオ (Vila Real de Santo António) を結ぶ路線のおよそ中間地点にあります。北部から来る場合には、ファロ (Faro) で電車を乗り換えてください。
- 飛行機：ファロのアルガルヴェ国際空港から40kmです。